ご使用上のご注意（はじめにお読みください）

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

■表示の説明について

表示内容を無視して、誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、下記の表示で区分して説明しています。

警告	この表示は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
注意	この表示は「傷害を負う可能性または物的傷害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、下記の表示で区分して説明しています。（表示の一例です。）

禁止	この表示は、してはいけない「禁止」内容です。
強制	この表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

■誤飲による事故防止について

警告

付属部品（掛金具、ねじなど）、小形の電池（ボタン形、コイン形および単4形、単5形など）は、幼児の手の届く所に置かないでください。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

■アルカリ電池について

警告

- 電池からもれた液が眼に入った場合は、失明するおそれがありますのですぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けてください。また、皮膚や衣服に付着した場合は、水で洗い流してください。
- ショート、分解、加熱、火に入れるなどしないでください。液もれ、発熱、破裂の原因になります。

■電池について

注意

電池の使い方を間違えると、発熱、破裂の危険や液もれにより人体や時計周りを傷めることがあります。

- ＋（プラス）、－（マイナス）を逆に入れないでください。
- 新しい電池と使用した電池や種類の異なる電池の混用はしないでください。
- 指定された電池を使用してください。
- 使い切った電池は速やかに取り出してください。
- 長時間使用しない場合は、電池を取り出してください。
- 電池交換時は、すべて新しい電池とお取りかえください。
- 電池交換時は、電池と時計の端子（接触部）の汚れを落としてから入れてください。

分解禁止

分解したり改造しないでください。
故障の原因になります。

■使用場所について

禁止

下記のような場所では使わないでください。
機械やケース、電池の品質が低下し、精度不良や時計、電池の寿命が短くなります。

- 温度が＋50℃（ 50度）以上になる所。例えば、長時間直射日光のあたる所。暖房器具等の熱風や火気に近い所。
- 温度が－10℃(氷点下10度)以下になる所。（プラスチックの部品や電池の劣化が起きることがあります。）
- ほこりが多く発生する場所。（空気中のちり等が機械部にたまって、時計が止まることがあります。）
- テレビ・OA機器・オーディオのそばなど強い磁気が発生する所。（磁力の影響で、時計の進みや遅れが生じたり、止まることがあります。）
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- 浴室など、湿気の多い所。
- 温泉場など、ガスの発生する所。
- 多くの油を使用する所。
（霧状になった油分がケースや機械部に付着し、汚れや止まりの原因になります。）
- プラスチック製の時計の場合、軟質のポリ塩化ビニルの上に長い間置くと、相互に色移りしたり、付着することがあります。

■お手入れについて

長くご愛用いただくために、2～3年に一度の点検・調整（有料）をおすすめします。販売店にご相談ください。

- 汚れがひどい時は、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどのよごれ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。
- 掛時計を壁面に掛けた場合、ケースなどの静電気で壁面が汚れるおそれがありますので、定期的に汚れを落としてください。

電波時計について

電波時計とは

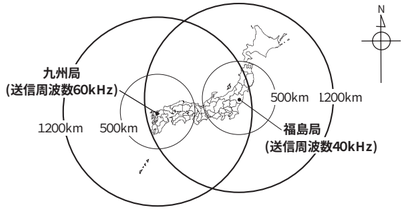
電波時計は、正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、自動的に表示時刻を修正し正確な時刻をお知らせします。

標準電波とは

標準電波(JJY)は、日本標準時(JST)をお知らせするために、通信総合研究所が運用している電波です。標準時の信号は、通信総合研究所の維持する国家標準により常に高い精度に保たれています。
※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。
標準電波送信所は、福島県の「福島局:おおたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局:はがね山標準電波送信所」の2ヵ所あります。
標準電波の詳細については、通信総合研究所のホームページをご覧ください。
(http://jjy.crl.go.jp)

電波の受信範囲について

条件のよい時は、送信所から約1200km離れた場所でも受信可能と想定されます。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯（昼／夜）あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。



この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤受信することがあります。

ビルの地下など

高圧線、テレビ塔、電車の架橋近く

金属製の雨戸やブラインドの近く

電化製品やOA機器の近く、又はスチール机等の金属製家具の上や近く

工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所。

朝夕の時間帯、雨天のとき

※受信範囲内であっても、設置場所、時計の向き、地形や建物の影響などの環境条件では受信できない場合があります。
※電波障害により、誤った受信をした際に、誤った時刻を表示することがあります。

自動受信による時刻修正回数について

標準電波を受信する回数は、最少1日1回から最多1日12回まで受信状況により変化します。

	受信回数
● 受信成功から72時間以内の場合	最少 1回／日 最多 3回／日
● 連続72時間以上受信に失敗している場合 ● 初めから受信に失敗している場合 ● 手動で時刻合わせをした場合	12回／日

製品仕様

時間精度	標準電波の受信に成功した場合の表示精度 時針／分針　目盛り1に対して±3度 標準電波を受信できなかった場合 平均月差　±20秒　(常温中のクオーツ精度)
報時精度	±1秒以内
使用温度範囲	－10℃～＋50℃
使用電池	1.5 V　単1形マンガン乾電池（JIS規格R20P）4本
電池寿命	約1年間（1日17回　報時を音量最小で鳴らした場合）
その他	電波受信確認用ランプ（LED）・明暗センサー 報時(メロディ)・音量調節・報時モニター・飾り

●時計に付いている電池は、工場出荷時に入れていますので、電池寿命が製品仕様より短い場合があります。
●電池寿命は、電波を正常に受信して明暗センサーにより、1日7時間、報時が停止しているときのものです。
●製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。
次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

●修理部品の保有について

この掛時計の修理用性能部品（電子回路・歯車等）は製造打ち切り後、7年間を基準に保有しています。ただし、外装部品（ケース・文字板等）の修理には、類似の代替品を使用させていただくこともあります。

●修理可能期間について

無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料修理が可能です。ただし、修理には販売店と修理工場の往復運賃・諸掛り費用も加わり、商品により修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

●転居または贈答品の場合

転居または遠隔地からの贈答品で、お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合、お客様相談室にご相談ください。
（保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。）

お問い合わせについて

アフターサービスなどについてご不明なことがありましたら**お客様相談室**にお問い合わせください。
お買い上げの製品に関するお問い合わせに際しては、製品の裏面などに表示してあります製品番号（型番）をご確認のうえ、お問い合わせください。
（例 4MN○○○など）

■お客様相談室　フリーダイヤル　0120-557-005
〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12

札幌支店 〒003-0030 札幌市白石区流通センター1-6-2 ☎(011)863-3788
仙台支店 〒983-0045 仙台市宮城野区宮城野 2-10-36 ☎(022)291-3235
北関東支店 〒370-0862 高崎市片岡町3-2-12 エコーマンション1F ☎(027)322-7892
東京支店 〒110-0005 台東区上野6-16-22 上野TGビル5F ☎(03)5807-7814
名古屋支店 〒460-0008 名古屋市中区栄 5-19-31 ☎(052)264-4581
大阪支店 〒542-0081 大阪市中央区南船場 2-7-30 ☎(06)6264-2388
広島支店 〒730-0054 広島市中区南千田東町 1-12 ☎(082)244-7774
福岡支店 〒816-0097 福岡市博多区半道橋 1-11-14 ☎(092)471-5585

所在地・電話番号が変更になることがありますのでご了承ください。

Y0311
発売元 リズム時計工業株式会社
本社 〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12
http://www.rhythm.co.jp

取扱説明書番号 M187-CXXZ

CITIZEN®

電波時計（掛時計）取扱説明書

アフターサービスについて

お買い上げいただきありがとうございます。
●お使いになる前に、この説明書をよくお読みください。
●お読みになった後も、必ず保存してください。

全国自動受信

CITIZEN® はシチズン時計株式会社の登録商標です。

時計各部の名称と役割

●図は操作説明用ですので、実際の商品とはデザインなどが異なることがあります。

分針(長い針)
…… 時針・分針の動き ……
時刻修正:早送りで動きます。
通常表示:10秒単位で動きます。

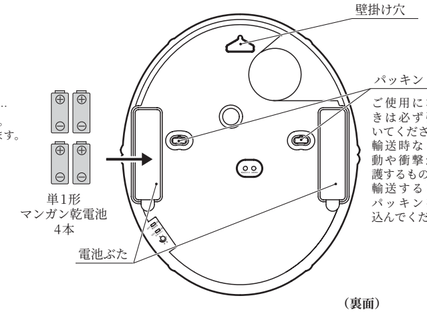
明暗センサー
明るさを感知します。

飾り
常時左右に揺れます。

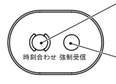
回転飾り
一方向に回転します。

モニターボタン
メロディを試聴できます。

メロディと共にLEDが点滅します(図は点滅の例)

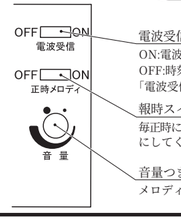


(側面操作部)



時刻合わせボタン
電波を受信できないときに使用します。
不用意にさわると時刻が変わります。

強制受信ボタン
電池を入れたとき、場所を変えたり、誤表示をしたときに押してください。



電波受信スイッチ
ON:電波を受信して時刻修正
OFF:時刻修正しません(通常のクオーツ時計として使用)
「電波受信スイッチについて」参照

報時スイッチ
毎正時にメロディを鳴らす場合は、「ON」鳴らさない場合は、「OFF」にしてください。

音量つまみ
メロディの音量を調節します。

メロディを試聴するには(モニターボタンについて)

○モニターボタンを押すと、時刻に関係なくメロディを奏でLEDがランダムに点滅します。
○メロディが鳴っているときに、モニターボタンを押すと、曲目が切り替わります。
○電波受信中は、受信しやすくするためモニターボタンは押さないでください。

メロディ音量の調節方法

モニターボタンを押して、メロディが鳴っている間に、音量つまみを回して、音量を調節します。
報時を使用するときは、事前に音量を調節してください。

明暗センサーについて

時計周囲の明るさを感知する明暗センサーにより、報時やランプの点滅を停止させます。このセンサーは、時計を設置した場所の明るさで働くため、昼間や夜間照明時でも設置場所の光量不足により、センサーが働くことがあります。

センサーが暗いと判別した場合
○受信表示ランプと秒針
秒針は、12時位置で停止し、受信に成功して点滅している場合は消灯します。
○報時
報時スイッチがONのときでも報時とLEDの点滅を停止します。

電波を受信できない場合

●場所を変える

電波の受信しやすい窓ぎわや、電波の送信所（取扱説明書の日本地図を参考）に、なるべく時計の正面または裏面が向くような所を選び、強制受信ボタンを押してください。設置場所を決める前に、「**電波を受信しにくい環境**」をお読みください。

●朝までそのままにしておく

夜間は電波状況が良くなるので、手動で時刻合わせをして、一晩そのままにしておくと受信できる可能性が高くなります。1～2日後に受信結果を確認してください。

受信できない場合は、手動で時刻合わせすることができます。

時刻合わせボタンを操作することにより、手動で時刻を合わせることができます。
※時刻ボタンを押し続けていないのに、針が早送りしている場合は、通常の動きになってから操作してください。
※電波受信スイッチがONの場合、手動で時刻合わせをしても、受信に成功すると自動的に時刻は修正されます。
※受信できない場合の時刻精度はクオーツ精度になります。

時刻合わせボタンを押すと、時針・分針が動き始めます。

○時刻合わせボタンを押して、すぐに離した場合は1分進みます。

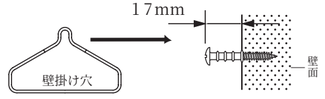
○時刻合わせボタンを押し続けた場合は、早送りで動きます。

秒針の動きについて
時刻合わせボタンを離した時点で、0秒から秒を刻み始めます。
①秒針が12時位置に停止している場合0秒から動き出します。
②秒針が動いている場合は秒針が早送りで移動します。(移動に要する時間を考慮しています。)

時計の掛け方について

強制
●付属の木ねじが使用できる場所は、木の柱または木質の厚い壁面です。
●木ねじは下図の通り、壁面にしっかりねじ込んで固定してください。

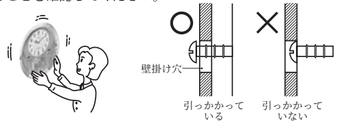
注意



●上記以外の場所(石膏ボード、コンクリートなどの壁面)に掛ける場合は、壁の材質・構造と時計の重量に合った、市販の掛具をご使用ください。その際、両面テープ式や吸盤式は時計が落下する危険がありますので、使用しないでください。

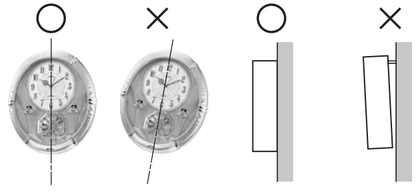
時計の掛け方が不適切な場合、時計が落下する危険があります。

●時計を掛けた時は、上下、左右に軽く動かして、確実に掛かっていることを確認してください。



時計を掛けたときの注意

※時計を垂直に掛けないと飾りの動きが不規則になったり止まることがあります。



電波受信スイッチについて

電波受信スイッチをOFFにしますと、電波の受信を行わないで、クオーツ精度で時刻を表示します。受信できない、誤受信しやすい場所で使用する場合、意図的に表示時刻を変えてお使いになる場合などのときにOFFにします。

・受信に成功した状態で、電波受信スイッチをOFFにしてから24時間以内は、受信表示ランプが点滅することがあります。
・電池を入れたときや強制受信ボタンを押したときには、電波受信スイッチがONのときと同様に受信表示ランプが点灯し、時分針および秒針が早送りしたりしますが、受信は行わずに時刻の表示になります

電波受信スイッチOFFでの電池交換について

すべての電池を交換し、強制受信ボタンを押してください。針が時刻を示した後、必要に応じて、手動で時刻合わせをしてください。

電池の交換時期お知らせ機能について

電池の電圧が低下し、電池の交換時期になると秒針が明るいところでも12時位置で停止します。注1) **このような状態になりましたらお早めにすべての電池を未使用の新しいものに交換してください。この機能は**電池寿命が残り約1ヵ月注2)のときからこの機能が働き出します。

そのまま放置した場合、時間違いや誤作動の原因になります。また、電池からの液もれより、時計の故障、壁や家具などに損害を発生する恐れがあります。

注1)この間も自動受信を行い、時針・分針は正常に動いています。

注2)使用条件や環境により期間が前後します。

こんなときには

時計が正しい時刻で動いていない。

明るいところで受信表示ランプを確認してください。
●受信表示ランプが消灯している場合は正常に受信できていないためですので、「**電波を受信できない場合**」をご覧ください。
●受信表示ランプが点滅している場合は、誤受信が原因と思われますので、強制受信ボタンを押してください。誤受信することが多い場合は、設置場所を変えてください。
●電池の残量が少なくなると誤表示の原因となることがあります。電池を新しいものと交換してください。

電波を受信できなくても報時機能は使えるか。

●受信できない場合は、自動的に時刻の修正ができないだけですので、手動で時刻合わせをすれば、ご使用いただけます。

今まで受信できていたのに、急に受信できなくなった。

●近くにノイズの発生源がある可能性があります。ノイズの発生源から遠ざけてください。
●標準電波を送信している設備の定期点検や落雷などの影響で停波(送信停止)することがあります。停波に関する情報は「通信総合研究所」のホームページに掲載されています。
ホームページアドレス　http://jjy.crl.go.jp

海外で使えますか

この時計は日本の標準時のみを受信することができます。他の国の標準時を受信することはできません。海外でご使用になるときは、電波受信スイッチをOFFにしてください。電波受信スイッチをONにしたままでは、まれに日本の標準時を受信して表示したり、ノイズにより誤表示することがあります。

1. 電池を入れて、標準電波の受信を開始させます

1 音量を最小にします

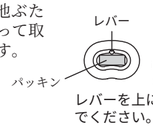
音量つまみを左に回して、音量を最小にします。音量を最小にしないと、急に大きな音が出る場合があります。

2 電波受信スイッチをONにします

電波受信スイッチを上げて、ONにします。

3 裏面の電池ぶたとパッキンを取り外します

2つの電池ぶたを引っぱって取り外します。



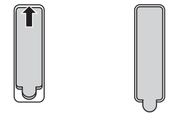
2ヵ所をのパッキンを引き抜きます。

輸送時などパッキンを取り付けときは、レバーを上に上げながら差し込んでください。

4 電池を入れます

①電池の ⊕ ⊖ を、電池ホルダーの ⊕ ⊖ と同じ向きに入れます。
②強制受信ボタンを押します。(必ず押してください。)
電波受信状態となり、受信表示ランプが点灯し、その後点滅します。受信中はボタンを操作しないでください。
○**受信中は、針が止まったままになりますが、故障ではありません。**

5 電池ぶたを取り付けます



① 差し込む　② 全体を押し込む

図のように、差し込んでから電池ぶた全体を押し込んでください。

6 時計を掛けて、受信が終了するまで待ちます

●時計を掛ける場所は、「**電波を受信しにくい環境**」を参考にしてください。
●「**時計の掛け方について**」をお読みの上、確実に時計を掛けてください。
○受信には最長で15分程度かかります。受信が終了すると、針が早送りで時刻を指します。
○受信に失敗した場合の表示された時刻は正しくありません。
○受信の成功・失敗は受信表示ランプの点滅または消灯で表されます。

⚠ 警告	電池の ⊕ ⊖ を入れ間違えた場合、電池の液もれ・発熱・破裂する原因となり、人的・物的損害が発生することがあります。
⚠ 注意	次のような場合は、必ず電池を取り出してください。電池からの液漏れで時計の故障や家具などを汚す原因になります。 ●使い切った電池。(時計が動かない／報時が鳴らないなど) ●長期間時計を使用しない。

2. 受信表示ランプで受信結果を確認します

受信表示ランプの点滅または消灯により、受信の成功・失敗を知ることができます。受信に成功した場合は、受信表示ランプが2秒に1回点滅します。点滅していない場合は、受信に失敗していますので、「電波を受信できない場合」をお読みください。

受信までの流れ(受信表示ランプの状態)

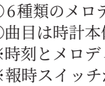
受信開始	電波読取中	結　果	
		2秒に1回点滅	→ 受信成功
電池を入れるて強制受信ボタンを押す →	点灯	1秒に1回点滅	
		消灯	→ 受信失敗

正しい時刻を表示します。

「電波を受信できない場合」をご覧ください。

点灯から点滅に変わらないで消灯したときは、標準電波を感知できませんので、設置場所を変えてください。

3. 報時スイッチを設定します



ON　：毎正時にメロディが鳴ります。
OFF：毎正時に鳴りません。

○6種類のメロディが収録されています。正時に1曲奏でます。
○曲目は時計本体に表示してあります。
※時刻とメロディの曲目は固定されていません。
※報時スイッチが「ON」でも、暗くなると報時しません。詳しくは「明暗センサーについて」をお読みください。
※時刻合わせボタンを操作して、正時にしても鳴りません。メロディを試聴するときにはモニターボタンを押してください。